

第2中ノ平橋補修工事 数量表

1. 総括表

その1

	工 種	規 格	単 位	当初数量	備 考
コンクリート補修工	ひび割れ補修工				
	ひび割れ注入工（3種）	注入延長	m	3.85	
		注入材：エポキシ樹脂注入材3種	kg	0.79	
		シール材	kg	0.54	
		低圧注入器	個	16	
	断面修復工				
	防錆処理を含まない	左官工法, ポリマーセメントモルタル	m3	0.21	①
	防錆処理を含む	左官工法, ポリマーセメントモルタル	m3	0.03	②
	コンクリート殻運搬	無筋コンクリート	m3	0.24	①+②
	コンクリート殻処分	〃	m3	0.24	
	表面含浸工	下地処理（高圧洗浄）	m2	188.0	
		けい酸塩系（2液混合型）	m2	188.0	NETIS：CG-170009-A 同等品以上
支承補修工	支承塗装工				
	支承数		基	6	
	下地処理	ワイヤブラシによる錆・汚れの除去	m2	0.68	0.34×2
	塗装工	常温亜鉛メッキ, 乾燥塗膜80μm以上	m2	0.68	
排水工・水切工	排水工				
	排水桝	FC250, 150×150, W=4.0kg/組	箇所	4	ネジ含む
	排水管	VPφ100×1250, L=5.0m	本	4	先端加工
	取付金具	亜鉛メッキ仕様, W=3.15kg/組	組	4	ボルト, アンカー含む
	既設排水目皿撤去	参考重量W=0.6kg/個	個	4	参考数量
	既設排水管撤去	SGP100A, W=12.2kg/m	m	3.8	〃
	舗装版切断	コンクリート, t=50mm	m	2.6	〃
	舗装版破碎	コンクリート	m2	0.10	〃
	床版はつり	鉄筋構造物	m3	0.01	〃
	削孔	φ130, 削孔長L=0.12m/箇所	孔	4	〃
	後埋モルタル	0.003×4	m3	0.01	参考：1箇所当り V=0.003m3
	水切工				
	水切材	エチレンプロピレン（EPDM）ゴム	m	23.9	

第2中ノ平橋補修工事 数量表

その2

	工 種	規 格	単 位	当初数量	備 考
橋面補修工	橋面防水工				
	下地処理	高压洗浄	m2	47.8	
	防水処理工	高浸透型床版防水材	m2	47.8	NETIS : KK-230060-A 同等品以上
	表面保護工		m2	47.8	
	伸縮装置補修工				
	シーラ材	シリコン系	L	3.1	
	止水材	目地処理工 (適用遊間20mm用)	m	9.2	NETIS : HR-240001-A 同等品以上
	防護柵補修工				
	高压洗浄		m2	37.3	
	塗装塗替 (Ra-Ⅲ塗装系)	素地調整 3種ケレンA	m2	0.50	支柱付根
		下塗 鉛・クロムフリーさび止めペイント (140 g/m2)	m2	0.50	鋼材露出部のみ
		下塗 鉛・クロムフリーさび止めペイント 140g/m2	m2	0.50	
		下塗 鉛・クロムフリーさび止めペイント 140g/m2	m2	0.50	
		中塗 長油性フタル酸樹脂塗料用中塗 120g/m2	m2	0.50	
		上塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗 110g/m2	m2	0.50	
	舗装工				
	舗装版切断	アスファルト, t=4cm	m	8.2	
	舗装版破碎		m2	16.4	
	同上運搬, 処分		m3	0.7	
	アスファルト舗装	密粒度アスコン, t=4cm	m2	16.4	
仮設工	仮設工				
	吊足場	タイプA1 (桁高h<1.5)	m2	48.8	
		床面シート張防護	m2	48.8	
	朝顔防護足場	タイプE, シート張防護	m2	19.1	側部足場
	枠組足場		m2	29.0	
	単管足場		掛m2	18.0	

2. 数量計算書（内訳）

2.1 ひび割れ補修工

(1) ひび割れ注入工

1) ひび割れ注入材（エポキシ樹脂注入材3種）

$$L = 3.85 \quad = 3.85 \text{ m}$$

$$V = 0.000047 \quad = 0.000047 \text{ m}^3$$

参考

注入材重量（0.043kg/本）

$$V = 0.043 \times 16 \times 1.15 \text{ ※ロス率} \quad = 0.79 \text{ kg}$$

2) シール材（w=30mm、t=2mm、 $\gamma=1700\text{kg/m}^3$ ）

$$W = 0.03 \times 0.002 \times 1700 \times 3.85 \times 1.37 \text{ ※ロス率} \quad = 0.54 \text{ kg}$$

3) 低圧注入器具（@250mm）

$$N = 3.85 \div 0.25 \quad = 16 \text{ 本}$$

(2) ひび割れ注入工数量表 (内訳)

上部工

番号	幅(mm)	長さ(m)	箇所	延長(m)	深さ(m)	体積(m3)
1	0.2	0.40	1	0.400	0.052	0.000004
2	0.3	0.65	1	0.650	0.052	0.000010
3	0.2	0.55	1	0.550	0.052	0.000006
4	0.3	0.65	1	0.650	0.052	0.000010
5	0.2	0.50	1	0.500	0.052	0.000005
6	0.2	0.30	1	0.300	0.052	0.000003
7	0.2	0.35	1	0.350	0.052	0.000004
8	0.2	0.45	1	0.450	0.052	0.000005
合計		3.85	8	3.850		0.000047

ひび割れ深さ＝ 52 mm ← はつり調査結果より設定

2.2 断面修復工（内訳）

断面修復工集計

	上部工	地覆	その他	合計
防錆処理を含む	0.01377	0.01980		0.03357
防錆処理を含まない			0.20855	0.20855

上部工

鉄筋有

番号	長さ(m)	幅(m)	箇所数	面積(m2)	深さ(m)	体積(m3)
1	0.10	0.10	3	0.030	0.090	0.00270
2	0.20	0.20	1	0.040	0.090	0.00360
3	0.10	0.10	1	0.010	0.090	0.00090
4	0.10	0.10	3	0.030	0.090	0.00270
5	0.15	0.15	1	0.023	0.090	0.00207
6	0.10	0.10	1	0.010	0.090	0.00090
7	0.10	0.10	1	0.010	0.090	0.00090
合計			11	0.153		0.01377

※断面修復厚さは、はつり調査結果より90mmとした。
 (かぶり64mm+鉄筋径13mm+余裕10mm÷90mm)

上部工（地覆）

鉄筋有

番号	長さ(m)	幅(m)	箇所数	面積(m2)	深さ(m)	体積(m3)
8	0.10	0.10	1	0.010	0.060	0.00060
9	0.10	0.10	3	0.030	0.060	0.00180
10	0.10	0.10	1	0.010	0.060	0.00060
11	0.10	0.10	2	0.020	0.060	0.00120
12	0.10	0.10	3	0.030	0.060	0.00180
13	0.10	0.10	1	0.010	0.060	0.00060
14	0.10	0.10	2	0.020	0.060	0.00120
15	0.10	0.10	1	0.010	0.060	0.00060
16	0.10	0.10	7	0.070	0.060	0.00420
17	0.10	0.10	5	0.050	0.060	0.00300
18	0.10	0.10	1	0.010	0.060	0.00060
19	0.10	0.10	6	0.060	0.060	0.00360
合計			33	0.330		0.01980

※断面修復厚さは、60mmと仮定した。
 (かぶり30mm(推定)+鉄筋径13mm+余裕10mm÷60mm)

その他（パラペット、舗装）

鉄筋無

番号	長さ(m)	幅(m)	箇所数	面積(m2)	深さ(m)	体積(m3)
1	0.10	0.60	1	0.060	0.050	0.00300
2	0.10	0.35	1	0.035	0.050	0.00175
3	0.35	2.00	1	0.700	0.055	0.03850
4	1.60	1.60	1	2.560	0.055	0.14080
5	0.40	1.10	1	0.440	0.055	0.02420
6	0.10	0.10	1	0.010	0.030	0.00030
合計			6	3.805		0.20855

※断面修復厚さは以下の通りとした。
 1～2：パラペットの角欠けのため50mmとする。
 3～5：コンクリート舗装厚の調査結果より55mmとする。
 6：ガードレールリブ材の露出であり、30mmとする。